

# 2008年のシーズンを迎えるにあたって ミルヴェのテーマは「動物と語らう森」

大森山動物園園長 小松 守

大森山動物園ミルヴェは、2006年に制定された大森山動物園条例の設置理念（レクリエーション・命のつながり・命の学び）に基づいて経営されています。この設置理念とは別に、より具体的な活動指針ができないものかと考え、昨シーズン「動物と語らう森」をテーマに掲げました。来園者にミルヴェらしい何かを感じていただくと同時に、私たち園スタッフ自身がこのテーマに沿って目標を定めながら、より充実したサービスを展開できるよう、今年も再び「動物と語らう森」をテーマとして掲げます。物語は百人の読み手がいれば百通りの感じ方があるように、来園される方の動物園の感じ方、受け取り方も様々でしょう。しかし、ミルヴェにお越しになる皆さんに動物園の基盤にある大切なもの、すなわち動物の「いのち」を感じてもらいたいものです。

「いのち」を古い日本の言葉で「いきのみち（息の道）」と書いてある本を読んだことがあります。私たちと同じ息づかいをする動物の「いのち」を大森山の自然の中で感じていただけた時、それは「動物との語らい」ができた瞬間であり、来園者の皆さんと動物園スタッフがどこかでつながった時でもあります。「動物と語らう森」というテーマにはそんな意味を込めています。

今年はまだ、以下の取り組みも進めます。

これからも変わらぬご愛顧、応援を宜しくお願いいたします。

## ●ユニークな文化資本・動物園としての原点を見直します

動物園は、動物の「いのち」を巡る様々なドラマが展開するユニークな博物館と言えるでしょう。動物の飼育と種の保存を原点にしながらも、動物が生き生きと光り輝ける動物園にしてまいります。「動物と語らう森」を標榜するためにも必要なことです。

## ●新しい動物病院が完成します

「いのち」を伝えるための施設として、新しく健康管理センター（動物病院）が完成します。ここでは、動物の診療や療養の様子などを無理のない範囲でご覧いただくことも計画しています。病気や怪我と闘い、懸命に生きる動物がいることも知ってもらいたいし、それをお伝えすることも動物園の大切な仕事のひとつと考えるからです。

## ●新たな動物展示をめざす大型遊具の建設が始まります

（財）日本宝くじ協会から大型児童遊具が寄贈されることになりました。動物園ではそれを活かし、新たな発想で動物との出会いの場を創出したいと考えています。完成は平成21年春ですが、トナカイなどの草食動物ゾーン内に設置し、空中散歩しながら動物の息づかいをより身近に感じてもらうように工夫したいと考えています。

## ●より一層の工夫を凝らします

動物との出会いの場として、これまで行われてきた「まんまタイム」や「エサやり体験」などを新たなアイデアで工夫します。また、動物をより知ってもらうため、スタッフ一人ひとりのアイデアでいろいろな動物展示を演出してまいります。さらに、今年からポニーの乗馬体験も始めます。



## ●動物園の将来像を描きます

大森山動物園が秋田市民の財産として、いつまでも大切な、そして楽しい場所であり続けるためには、今ある施設を将来的にどう維持し、発展させていくのか、あるいはどう運営していくかが重要な課題です。秋田市民の動物園にふさわしい将来像（再整備）について検討を行ってまいります。